

私の遠隔授業実践談

新型コロナウイルスの感染拡大を背景に突如として始まった遠隔授業。国学院大学では5月から、ビデオ会議システム「Zoom(ズーム)」によるライブ配信、収録した動画のオンデマンドによる配信、K-SMAPY IIを通じた課題の提示などの中から、それぞれの教員が科目の目的や内容、規模などに応じて最適な方式を選択し、遠隔授業を展開している。11月からは、教室での対面授業を、Zoomを使ってライブ配信する「ハイブリッド授業」も始まり、学生たちの受講スタイルはさらに広がっている。

教員に話を聞くと、教室とは全く異なる環境の中で、遠隔授業の利点と欠点を把握し、長所を伸ばしながらより質の高い授業を毎週実現しようと創意工夫を重ねてきた実情が見えてきた。

文学部日本文学科で「伝承文学概説」などを担当する飯倉義之准教授は、「オンデマンド授業は中身が濃い柔軟な授業を展開できる」と語る一方、「学生間のコミュニケーションが取れず、教員とのつながりも希薄になる」ことを課題に挙げる。全学部1、2年生を対象とした「基礎日本語」の科目マネージャーとして多くの兼任講師とともに均質化された授業づくりを進める加納なおみ・教育開発推進機構准教授は、「教室の空気感をもとに臨機応変に指導できるのが対面授業の利点だが、学生のレポートを自動的にデジタルデータで保存し、担当教員間で共有できるなどオンラインならではの利点も見逃せない」と話す。

教育のデジタル化は、アフターコロナの時代に入っても続くだろう。今まさに授業づくりに試行錯誤を続ける教員たちの声は、次の時代の大学をよりよい方向に導く糧になりそうだ。

【6・7面に関連記事】



対面と遠隔のハイブリッド授業始まる

新型コロナウイルスの収束に見通しが立たない中、後期授業は実技・実習系の一部の授業を除いて、前期に引き続き遠隔での授業が続いている。そうした中、一部の科目で11月16日から、対面で行う授業を遠隔でも受講できるように配信するハイブリッド方式が開始された。

ハイブリッドで授業を始めたのは渋谷、たまプラーザ両キャンパスを合わせて約80科目。担当教員は、配信機器が用意された教室で、登校し



た学生とビデオカメラを前に授業を行う。授業の様子はZoomを使ってライブ配信される。ハイブリッド授業を担当する複数の教員によれば、運用開始直後の11月中旬は10〜20人前後の学生が教室で授業を受けていた科目でも、都内の新型コロナウイルス感染者が増加し始めた11月下旬以降は受講者数が減りつつあり、教室に受講者がいない時間もあるという。鈴木崇義・教育開発推進機構准教授が担当する「漢文学概説」II写真IIを教室で受講した日本文学科1年の男子学生は「対面授業を受けて大学生だという実感がわいた」と話した。ハイブリッド授業を実施するために新たに導入したビデオカメラなどの機器備品の購入費には、本学専任教職員によって組織される「専任教職員会」からの寄付が活用されている。

みはるかすもの

慌ただしい年の瀬。コメや野菜など日常の買物物はツケ(掛け買い)だった時代の大みそかは、盆と並んで「節季」と呼ばれる決算期で、ツケを払わせたい掛け取りの商人と先立つものに苦しむ庶民との一大攻防戦の舞台だった▼「かけとりが来る」と作兵衛/うなり出し(『俳風柳多留』)。作兵衛は仮病人の意。身から出た錆とは言え、人情に訴える庶民の悲哀にくすぐられる▼古典落語の一つ「掛け取り万歳」は大みそか、八五郎が集金に訪れる掛け取りが好きな芸事を利用して言い訳を並べ撃退する噺。家賃を取り立てに来た狂歌好きの大家には「貧乏をすれ

ど/この家に風情あり/質の流れに借金山」などと窮状を訴える。大家は感心して「貸しはやる/借りは取られる世の中に/何とて大家つれなかるらん」と芝居の名場面の替え歌を詠んで帰っていく▼大みそかの攻防を描いた何げない噺のようで、演者は芸事への深い知識が求められる。昭和の名人、6代目三遊亭圓生は義太夫、芝居、三河万歳まで多彩に演じて客席を沸かせた▼想定外の事態が続くこの1年。本紙ではピンチに立ち向かう人を多く取材してきた。印象に残った言葉は「足元を見直す」「挑戦」。誰一人悲観的なことは言わず、日々研鑽を積んでいた▼「未曾有の」「経験したことがない」の枕詞は1年で使い古された。八五郎のような言い訳は通らないだろう。新しい年はいよいよ真価が問われそうだ。





学校法人国学院大学は、12月10日に行われた理事会で、11月に文化勲章を受章した本法人顧問で彫刻家の澄川喜一氏に対し、有栖川宮記念賞を贈ることを決定した。表彰式は同日、明治記念館（東京都港区）で行われ、佐柳正三理事長から、学校法人国学院大学有栖川宮記念賞の表彰状と目録が澄川氏に手渡された。

佐柳理事長は「文化勲章受章を、関係者一同を代表して心からお祝い申し上げます。先生とのご縁は創立120周年を機に行った渋谷キャンパスの再開発だ。総合的なデザイン監修としてご助言をいただき、おかげで『開かれた都市型大学の創造』を完遂することができた。一新されたキャンパスには多くの受験生を集めている。これから先もお健やかで、ま

法人顧問・澄川喜一氏に有栖川宮記念賞

すまず創作活動に専念されることを祈念している」と挨拶した。

澄川氏は「丁重なお招きに心から喜んでい。いろいろな関係があつてキャンパス再開発をお手伝いした。国学院大学がますます発展するように祈っている」と受章の喜びを語った。

東京スカイツリーのデザイン監修などで知られる澄川氏は昭和27年に東京芸術大学彫刻科に入学し、木彫の大家・平柳田中氏や塑像の第一人者・菊池一雄氏に師事。東京芸術大学の学長などを歴任し、文化功労者、日本芸術院会員にも選ばれている。本学の創立120周年記念事業として平成14年に着手した渋谷キャンパスの再開発事業では、渋谷キャンパス選定専門委員会委員長として、キャンパスの総合的なデザイン監修を担当した。3号館竣工に合わせて「翔」と「翼」の2作品をキャンパスに設置している。

学校法人国学院大学有栖川宮記念賞は、本法人の関係者で、各分野、各方面において特に顕著な功績を認められた者を、顕彰するもの。同賞の表彰は平成27年度に文化功労者に選ばれた野本寛一氏に続き7人目となった。

専任教職員会から修学支援へ寄付

国学院大学の専任教職員によって組織される専任教職員会から、新型コロナウイルスの感染拡大によって大きく変化する学生の学びを支援するための寄付が本学に贈られ、目録の贈呈式が11月24日、渋谷キャンパスで行われた。今回の寄付金は、11月から始まった対面授業をオンラインでライブ配信するハイブリッド授業のための環境整備や学生の奨学基金に活用される。

贈呈式では黒崎浩行幹事長（神道文化学部教授）から針本正行学長に目録が手渡された＝写真。黒崎幹事長は「コロナ禍において学生たちの学びの歩みが止まることのないようにということを考えて寄付に至った。教育環境の整備は教職員にとっても実現してもらいたいこと」と挨拶。針本学長は「コロナ禍によって家計が困窮する学生も出てくる。学修環境の整備のみならず、学生の奨学金にも資したい」と応じた。



教職員人事

退職（自己都合）
◎大学事務局◆専任▷木下健太郎（たまプラザ事務部たまプラザ事務課書記）
12月31日付

木村好成法人理事 逝去

学校法人国学院大学理事で学校法人国学院大学栃木学園（以下、栃木学園）理事長の木村好成氏が11月14日に逝去。88歳。葬儀はすでに執り行われた。



木村氏は昭和7年生まれ。31年国学院大学政経学部卒業、同年国学院大学久我山高等学校教諭。38年東京教育大学研究生、学校経営管理研究修了。41年栃木学園事務次長兼国学院大学栃木短期大学（以下、短大）学生課長、51年短大監補、57年栃木学園事務局長、58年栃木学園理事、59年国学院大学二杉幼稚園長事務取扱、62年学校法人国学院大学評議員、63年二杉幼稚園長、平成2年栃木学園常務理事、6年国学院大学栃木高校校長、8年同中学校長、11年学校法人国学院大学理事、15年栃木学園理事長、短大監。栃木県私学審議委員会委員、日本私学教育研究所評議員、伊勢神宮評議員、伊勢神宮崇敬会評議員などを歴任。

著書に『太平の春秋』（おうふう）がある。

遠藤彰郎元教授 逝去

国学院大学経済学部元教授の遠藤彰郎氏が9月25日に逝去。74歳。葬儀はすでに執り行われた。

遠藤氏は昭和21年生まれ。44年慶応義塾大学法学部卒業。日本経済新聞社勤務を経て平成9年本学経済学部助教授、12年教授、25年依願退職。在職中は学生部長、就職部長などを歴任した。

専門はコーポレート・コミュニケーション論。著書に『企業価値向上のためのIR経営戦略—理論・実践・提言』（共著・東洋経済新報社）などがある。



佐柳正三理事長から表彰状を授与される澄川喜一氏(右)

国内外派遣研究員決まる

- 国学院大学の令和3年度派遣研究員、研究課題、研修先、派遣期間が次の通り決定した。
- 〔国内派遣研究員〕
- ◆文学部：青木敬教授「古代産業生産の考古学的研究」独立行政法人国立文化財機構、奈良文化財研究所、4月1日～令和4年3月31日▽石本道明教授「江戸期孔子研究資料の調査と収集—近世日本における註釈の深化と拡大」国学院大学図書館、小浜市立図書館酒井家文庫、大阪大学懐徳堂文庫など、4月1日～令和4年3月31日▽新倉真矢子教授「ドイツ語の音変化に関する研究と音声教育への応用」国学院大学図書館、上智大学音声学研究室、4月1日～令和4年3月31日▽橋本貴朗准教授「国学院大学図書館収蔵の未紹介古筆切資料の調査研究」国学院大学図書館、国立国会図書館、国文学研究資料館など、4月1日～令和4年3月31日
 - ◆経済学部：橋元秀一教授「近年における労務管理の展開に関する調査研究—成果主義の日本型と労働組合による労働者供給事業の動向—」国学院大学図書館、国立国会図書館、4月1日～令和4年3月31日▽星野広和教授「品質と生産性のジレンマに関する研究」国学院大学図書館、4月1日～令和4年3月31日
 - ◆文学部：藤野寛教授「テオドール・W・アドルノの理論哲学および倫理学の体系的研究」ペルリン自由大学哲学部（ドイツ）、4月1日～令和4年3月31日▽手塚雄太准教授「欧州諸国における文書館（アーカイブズ）及び近現代日本関係史料に関する調査と研究」ルーヴェン・カトリック大学（ベルギー）、4月1日～令和4年3月31日
 - ◆法学部：平地秀哉教授「アメリカ合衆国における平等保護条項の解釈に関する理論的・実践的研究」オレゴン大学（米国）、10月1日～令和4年9月30日
 - ◆神道文化学部：石井研士教授「社会変動とくに地域社会の変動と宗教に関する研究」国学院大学図書館、国立国会図書館、東京大学図書館、県立長野図書館、長野市立図書館など、4月1日～令和4年3月31日
 - 〔国外派遣研究員〕

新学部設置へ課題と期待

「観光まちづくり」フォーラム

「観光立国・日本」を支える人材育成のため観光学部観光まちづくり学科(仮称)設置を目指す国学院大学は11月26日、「観光まちづくり」フォーラムを開催した。会場の常磐松ホールには新型コロナウイルス感染症拡大後として初めて約100人の招待客が集まったほか、約250人がオンラインで視聴するなど関心の高さを示した。

第1部の開会に際して挨拶に立った針本正行学長は「未曾有の災禍で地域社会の在り方が問われている。観光学部では、日本文化の担い手とまちづくり・観光とを連携させ、地域の活性化に貢献できる人材を育成する」と新学部設置の意義を強調。続いて新学部設置準備室長の西村幸夫教授が、地域から観光を考える▽理論と実践の両面から学ぶ▽文系と理系の垣根を越えて学ぶとした三本柱を中心に新学部の概要を説明。この中で、「資源・来訪者・地域住民をマッチさせるものが「観光まちづくり」だ。「地域を見つめ、地域を動かす」をモットーに連携を提

案することで、学生だけではなく広い地域に貢献できるようにしたい」とした。その後、タレントのバックンマックンが「観光まちづくり」への期待」と題して特別講演。熊野古道の木ノベッドから見上げた杉林での経験や富士山と五重塔のコラボが外国人観光客によって発信されたことなどを紹介しつつ、「新しい視野が大事」「当たり前すぎることに気づかせてほしい」「外からの意見を聴いて」など、新学部に対する思いを伝えた。



日本中を歩いた経験を披露したバックンマックンの2人



新学部の概要を説明する西村幸夫新学部設置準備室長(画面左)。イベントの様子はオンラインで配信された

土佐氏に学位記を授与

国学院大学は土佐秀里文学部教授に博士(文学)の学位を授与することを決定した。12月2日、渋谷キャンパスで針本正行学長から学位記が贈られた。

土佐教授の学位論文は『律令国家と言語文化』。主査は谷口雅博文学部教授、副査は大石泰夫文学部教授、野中哲照文学部特任教授、高松寿夫早稲田大学教授。

編纂1300年『日本書紀』テーマに『國學院雑誌』特集号を刊行

学術雑誌『國學院雑誌』の特集号『『日本書紀』研究の現在と未来』が11月15日に刊行された。今回は、今年『日本書紀』編纂1300年の節目を迎えたことを受け文学、史学、神道学など多方面の研究者による論考を幅広く収録している。論文の執筆陣は、岡田莊司名誉教授をはじめ学内外の研究者21人。

配布は渋谷キャンパス若木タワー11階の文学部資料室で行う。対象は文学部、神道文化学部、大学院文学研究科、専攻科、別科生。上記以外には1冊1100円で販売する。

問い合わせは、文学部資料室(☎03・5466・4813)まで。

『國學院雑誌』は、明治27年に創刊された国内で有数の歴史を誇る月刊学術雑誌。国学院大学の教員をはじめとする執筆者が、各分野の研究論文などを掲載する。

春期短期留学の催行を中止

国学院大学は、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大の状況を考慮し、予定されていた令和2年度春期短期留学をすべて中止することを決めた。派遣期間はいずれも来年2月から3月の予定だった。対象となる派遣先は次の通り。

セントマイケルズ大学(米国)▷アジアパシフィックテクノロジー&イノベーション大学(マレーシア)▷復旦大学(中国)

マレーシアのクアラルンプールで2月20日から1カ月間の予定で計画されていた海外インターンシップも中止となった。

経済学部 1年生 コロナ禍の社会課題を発表

経済学部1年次の「基礎演習B」でグループワークなどを通じて設定された課題について検討を続けてきた内容を発表するプレゼンテーション大会の決勝が12月2日、オンライン上で開催された。

7回目となる今年度は提示された「コロナ禍による社会問題や経済問題を取り上げ、それを解消するソーシャルビジネスを提案せよ」のテーマに対して、4人程度のグループに分かれた1年生がさまざまな視点から課題を設定。遠隔授業が続く中、オンラインを駆使して解決策の検討を重ねてきた。決勝大会では事前の予選を突破した6チームが発表を行った。

審査の結果、コロナ禍によって大学生の交流機会の減少に着目して、オンライン上でのコミュニケーションのノウハウを提供するサービスを提案した辻和洋助教担当クラスのチームが最優秀賞に選ばれた。

お詫びと訂正

国学院大学学報695号4面「国学院大学博物館 企画展開幕」の記事の中で紹介した資料名に誤りがありました。正しくは『楽石雑筆』です。お詫びして訂正いたします。

来賓の挨拶

初代観光庁長官を務めた本保芳明・UNWTO駐日事務所代表は「もはや「観光まちづくり」という言葉は普通名詞になり、経済偏重だった観光も社会・文化・環境重視にシフトした。新学部には人材育成の核となってもらいたい」と述べた。



神田神社の清水祥彦宮司は「日本には7万9000社の神社があるが、20年後には4割が消えるとされる。お祭りを通じてツーリズムとまちづくりの側面から、コトの体験と地域の絆を創造する人材を育成してほしい」とエールを送った。



100年先を見据え足元の資源を生かす 「地域を見つめ、地域を動かす」シンポジウム

「観光まちづくり」フォーラム第2部では、さまざまな立場で観光振興やまちづくりに尽力する4氏をパネリストに迎え、「地域を見つめ、地域を動かす」をテーマにシンポジウムを展開した。写真。各パネリストらの発言は次の通り。

箱根・奈良屋旅館14代目、NARAYACAFE代表の安藤義和氏「箱根は東日本大震災でコロナ禍と同じような苦境に陥ったが、『宮ノ下さんぽ』というイベントで対応してきた。まさに無理をさせず、足元の資源を見つめ、競い合うのではなく全体のパイを増やすことが重要だ」

（社）Clean PE ONLY津軽スタッフの渡邊一樹氏「観光は東京への一極集中緩和と地方活性化を同時に達成できる成長戦略の柱だ。地方はITリテラシーやインバウンドへの意識が低いなどの課題も多いが、コロナ禍で動きが取れない今だからこそ基盤整備に専念している」

パネリストからの発言



生プロジェクト代表理事の豊田雅子氏「主婦や母親の目線でまちづくりを10年続けてきたが、移住者が劇的に尾道を変えてくれたと実感している。地域の人も心をオープンにする必要がある。観光まちづくりは一朝一夕には踏み込めないが、足跡を残しログを積み重ねるうちに、面白くなって伸ばすことが神髄ではないか」としめくくった。

目指すものは一朝一夕には踏み込めないが、足跡を残しログを積み重ねるうちに、面白くなって伸ばすことが神髄ではないか」としめくくった。

令和3年度 学年暦が決定

令和3年度の学部・大学院の学年暦が決定した。詳細は別表の通り（ただし入試関連行事を除く）。

学部学年暦		大学院学年暦	
3月31日(水)～4月6日(火)	オリエンテーション、履修ガイダンスなど	4月1日(木)	大学院入学式
4月2日(金)	入学式	4月1日(木)～6日(火)	履修指導・オリエンテーション
4月7日(水)	前期授業開始	4月7日(水)	通年・前期授業開始
4月29日(木・祝)	「昭和の日」ですが、通常の授業を実施します	4月29日(木・祝)	「昭和の日」ですが、通常の授業を実施します
5月1日(土)	神殿鎮座記念祭	5月1日(土)	神殿鎮座記念祭
5月3日(月・祝)	「憲法記念日」ですが、通常の授業を実施します	5月3日(月・祝)	「憲法記念日」ですが、通常の授業を実施します
5月4日(火・祝)	「みどりの日」ですが、通常の授業を実施します	5月4日(火・祝)	「みどりの日」ですが、通常の授業を実施します
5月5日(水・祝)	「こどもの日」ですが、通常の授業を実施します	5月5日(水・祝)	「こどもの日」ですが、通常の授業を実施します
7月13日(火)	前期授業終了(保育士課程以外の科目)	5月31日(月)	「修士学位申請論文題目届」提出締切(正午)
7月14日(水)～20日(火)	前期試験	7月20日(火)	前期授業終了
7月18日(日)	追試験(授業時試験対象)日曜日ですが、追試験を実施します	7月23日(金・祝)	夏季休暇 ～9月18日(土)
7月20日(火)	前期授業終了(保育士課程の科目)		
7月21日(水)～22日(木・祝)	追試験(前期試験対象)22日は「海の日」ですが、追試験を実施します	9月7日(火)～16日(木)	前期集中講義
7月23日(金・祝)～9月18日(土)	夏季休暇	9月20日(月・祝)	後期授業開始、「敬老の日」ですが、通常の授業を実施します
9月7日(火)～10日(金)	サマーセッション①	9月23日(木・祝)	「秋分の日」ですが、通常の授業を実施します
9月13日(月)～16日(木)	サマーセッション②	11月4日(木)	国学院大学創立記念日(休講)
9月20日(月・祝)	後期授業開始、「敬老の日」ですが、通常の授業を実施します	11月23日(火・祝)	「勤労感謝の日」ですが、通常の授業を実施します
9月23日(木・祝)	「秋分の日」ですが、通常の授業を実施します	11月30日(火)	「修士学位申請論文第1次題目届」提出締切(正午)
11月4日(木)	国学院大学創立記念日(休講)	12月23日(木)	年内授業終了
11月23日(火・祝)	「勤労感謝の日」ですが、通常の授業を実施します	12月27日(月)	冬季休暇 ～令和4年1月7日(金)
12月23日(木)	年内授業終了		
12月24日(金)	冬季休暇	1月8日(土)	授業再開
～令和4年1月7日(金)		1月11日(火)	「修士学位申請論文」提出締切(正午)
1月8日(土)	授業再開	1月15日(土)	大学入学共通テストのため休講
1月15日(土)	大学入学共通テスト試験会場のため休講	1月20日(木)	後期授業終了
1月24日(月)	後期授業終了	1月25日(火)～31日(月)	後期補講・集中講義(日曜除く6日間)
1月25日(火)～31日(月)	学年試験	2月16日(水)	【文学研究科】最終試験
2月7日(月)～9日(水)	追試験	2月18日(金)	【法学・経済学研究科】最終試験
3月20日(日)	卒業式	3月19日(土)	学位記授与式
3月22日(火)～25日(金)	スプリングセッション		



ホームカミングデー
ONLINE



今年はお
オンラインで



院友とともに創る國學院の未来

▶ **スペシャルトークライブ**

なぜスポーツは 人に力を与えるのか

ZOOM ライブ配信 **事前申し込み制**

ゲスト 田代 学氏 (99法、サンケイスポーツ編集局次長)
鳥山 泰孝氏 (106法、国学院大学硬式野球部監督)
坂本 大記氏 (106文、国学院大学柔道部監督)
前田 康弘氏 (国学院大学陸上競技部監督)

MC トーマス・サリー氏 (116法、フリーアナウンサー)

日時 令和3年1月9日(土) 13時開演



田代 学氏



鳥山 泰孝氏



坂本 大記氏



前田 康弘氏

スポーツはいつでも勝ち負けを超え、観る者に感動や勇気を与えます。それは、競技の迫力や技術の高さだけでなせることではありません。

新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、かつてない環境で学生スポーツの最前線にいる3人の国学院大学体育会会の監督と、スポーツ界を幅広くウオッチする田代氏がスポーツを通じた若者の成長、育成術を語り尽くします。ビデオ会議システム「Zoom」でライブ配信。

自宅から物産展「我が町の院友 我が町の名産」、128期卒業生限定オンライン交流会、大人のキャンパスツアー“ONLINE”などほかにもオンライン企画続々!!

大学ホームページ

▶

卒業生

▶


ホームカミングデー

から詳細をチェック!


【国学院大学校友課】
〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28
☎03(5466)0131 hcd@kokugakuin.ac.jp

詳細・申し込みはPC・スマホでアクセス!

[ホームカミングデーページ]
<https://www.kokugakuin.ac.jp/graduate/homecomingday>



もっと日本を。もっと世界へ。



國學院大學

ウェブ上のシンポジウム ワークショップ好評博す

国学院大学研究開発推進機構は、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、学生や渋谷区民をはじめとする一般向けのシンポジウムやワークショップなどをビデオ会議システム「Zoom(ズーム)」で開催。国内外の出演者に直接質問する機会も設けられた。

神道文化学部の黒崎浩行教授が進行役を務めた渋谷学シンポジウム「地域資源を活かした都市防災へー渋谷東地区と他地域から考える」(研究開発推進センター渋谷学研究会主催)は、今年2月の開催が見送られ11月にオンラインで開催された。参加者は11月16日から28日までに録画配信された動画を閲覧、28日のシンポジウムをライブで視聴した。

基調講演を行った大阪大学大学院の稲場圭信教授は、自身が運営に携わる「未来共生災害救援マップ(災救マップ)」を紹介した。災救マップは、ウェブ上やアプリで自宅や出張先の所在地の標高や近くの避難所を表示し、災害時には救援活動の補助となる情報を集約できる。

2日目はバンコクに住む25歳のタイ人女性のパットさんが自宅を案内する「オンライン家庭訪問」を実施。ウェブカメラで、住居や生活の様子を紹介し、若いタイ人の仏教観や休日の過ごし方など、参加者の質問にリアルタイムで回答した。

主催した日本文化研究所の平藤所長は「『オンライン家庭訪問』は、コロナ禍のなか、TNCが開発した海外マーケティングの仕組みです。それを使わせていただき、今後も展開させていきたいです」と話した。

研究開発推進機構日本文化研究所の平藤喜久子所長が司会を務めたオンラインワークショップ「タイの暮らしと宗教文化」は、学生や一般の参加者60人以上が11月30日、12月1日の2日間にわたり受講した。参加者は初日、北海道大学大学院の櫻井義秀教授、海外マーケティングを扱う株式会社TNCから、タイの歴史や文化、タイ人の仏教観、タイのトレンドなどを広く学んだ。

渋谷学シンポジウムで進行役を務めた神道文化学部の黒崎浩行教授



渋谷学シンポジウムで進行役を務めた神道文化学部の黒崎浩行教授



日本とタイを結んで行われたワークショップではオンライン上で参加者から活発に質問が飛び出した

法学部フェロー オンラインで答案作成方法を解説

法学部独自の教育スタッフ「フェロー」が答案やレポートの作成方法を分かりやすく解説する「オンライン講座」が公開されている。憲法や行政法、政治学など専門の異なる6人のフェローが、課題として提示されそうな一行問題、事例問題をサンプルに、答案の構成の仕方、書き方を、Zoomのオンデマンド機能を使って講義している。

法学部FD委員の宮内靖彦教授は「答案を作成することは、いつも難しい作業です。方法がわからなければ、どのように教科書を読み、勉強すべきかもわかりません」とし、「答案の構成の仕方や書き方について基本的に重要な点や枠組みをおさえ、自分なりの説き方、書き方を確立する一助となれば」と期待を込める。

動画は、法学、政治学を学修する学部生向けに公開され、アクセス方法はK-SMAPY IIの掲示メールや各授業担当教員から告知されている。大学ホームページのフェローのページからもアクセスできる。公開は来年1月下旬までの予定。

外国語文化学科 オンラインで英語落語

文学部外国語文化学科の「文化発信型英語力開発活動」の一環として英語落語のセミナーが11月25日、渋谷キャンパスで開かれオンラインでライブ配信された。

国内外で英語落語の公演を行う鹿鳴家英楽さんを招いて行うこの企画は今年で5回目。今回は、受講者と会場をZoomで繋いで開催となった。英楽さんは、自身の活動の一端や明治、大正に活躍したイギリス人落語家、快楽亭ブラックについて紹介。ブラックが原語を残したとされる「試し酒」など2席を英語で披露した。

ワークショップでは、受講者が少人数のグループに分かれて英語の小噺を実践。落語の世界を通じて英語の学びに親しんだ。



就職活動ワンポイントアドバイス 業界や企業を知ることが第一歩

就職活動は、企業を知らないで目標を見いだせません。興味がないと思っている業界、企業を知ることが大切です。幅広く業界や企業を知ってから取捨選択したほうが自分に合う企業を見つけられる確率が高くなります。

キャリアサポート課が作成し配布している「業界大研究」を熟読することをお勧めします。そこに書かれている企業の情報の中には、きっと自分がひかれる何らかのキーワードがあるはず。例えば業界1位にひかれる人もいれば、業界2位にひかれる人もいます。2位は1位に追いつき追い越せという姿勢で活力があり、1位は王者らしい企業文化があります。グローバル、チームワーク、シェア、利益率など、興味をもつ「刺さるキーワード」がどこかに隠れています。

キーワードから自分自身の興味はどこにあるかがわかれば業界や企業選びは容易になります。3年生は100社プレエントリーを目指して企業研究を進めてみてください。【キャリアサポート課監修】

大場磐雄の神道考古学

学問ノ道 第31回

師との出会いが紡いだ 「二生の仕事」



大場磐雄博士

国学院大学ならではの「神道考古学」を一代で築き上げたのが、「楽石」こと大場磐雄(1899-1975)である。もともと、彼が古代祭祀研究に興味の的を絞っていった過程には、幾つかのきっかけがあった。

第一の契機は、生涯の師となる折口信夫(1887-1953)との出会いである。ある日、自宅まで折口が訪ねてきた時のこと。2人で土偶を観察しながら、壊れていない土偶が発見された例がないことについて疑問を呈された



折口信夫博士との会話から研究の端緒となった土偶(椎塚貝塚出土)

折口は、「それは大変面白いですが、きつと欠けると霊力を失うから捨てたのでしよう」と答えたという。後に大場は、このような問答が、古代宗教の研究を志した端緒になったと述懐している。

また、大正14(1925)年から内務省神社局考証課の嘱託となつた大場は、課長であった宮地直一(1886-1949)の下で神宝調査や社史編纂に従事。大正15年に、宮地の名で『神社と考古学』を執筆する機会を得た。そして、昭和2(1927)年の伊豆の調査で、古墳時代の祭祀遺物が多数出土した洗田遺跡を訪問。遺跡の西方に聳える三倉山の山陰へ沈みゆく夕日を拝して「一種の靈感に打たれ、ついに「古代祭祀址の研究」を一生の仕事と心に決めたというのだ。

その後の大場は、昭和4年に本学講師となり、昭和10年に「本邦古来の神道を背景とする諸現象を

考究する学」として、「神道考古学」を提唱するに至つた。さらに、昭和24年から教授となり、昭和50年に亡くなるまで後進の育成に当たつた。このような大場の歩みは、彼の日記である『楽石雑筆』に詳しい。そこには、まさに大場が辿つてきた「学問の道」が示されている。最後に、大場が好んで揮毫した歌を一首。

いにしへの手ぶりはむる
くさむらにこの一すじの
小道たどりて

これまで調査してきた数々の遺跡には、古の人々の生きた証が刻まれている。振り返ってみれば、彼らの足跡を追い求め、考古学の道を、この小さな一筋の道をたどつてきたのが、私の人生であつた。

研究開発推進機構准教授・深澤太郎



逆境もトラブルも乗り越え見えた光

私の遠隔授業実践談

さまざまな苦勞、創意工夫を重ねながら前期、後期と授業を続ける教員たち。今回は文学部日本文学科で伝承文学に関する授業を多く担当する飯倉義之准教授と、全学部共通の共通教育プログラムの中で1、2年生に対して開講されている「基礎日本語」を科目マネージャーとして取りまとめる教育開発推進機構の加納なおみ准教授に話を聞いた。

講義科目である伝承文学概説(1年生対象)、伝承文学講義(2年生対象)、現代文化論(3、4年生対象)の各授業をオンデマンド方式で実施しました。コロナ禍によって急遽遠隔授業を始めることになった時、これらの科目の場合、オンデマンド方式でも学生が十分に知識を習得できるとの判断がありました。

K-SMARTY II を利用したオンデマンド方式の授業の流れは以下のようになります。まず事前に公開した教科書本文テキストを学生に読んでおいてもらいます。次に授業日前日夜に授業資料PDFと講義動画(パワーポイントで作成した画像と解説音声)を公開します。学生はこれを授業日以内に視聴し、A4用紙1枚程度に授業内容をまとめたリポートを提出します。このリポートは出欠確認の役目も果たします。90分の授業は、講義部分を25分に3分割し、残りの時間は考える時間に充ててもらおうという構成にしました。視聴に際してのダウンロードや学生の負担を考慮したものです。

オンデマンドによる授業を振り返ると長所と短所それぞれが浮かび上がってきました。長所は中身が濃い柔軟な授業を展開できるという点に尽きます。例えば対面で解説しては追いつかないほどの量の資料をパワーポイントでは容易に提示できます。板書では限界のある文字量も増やすことができますし、アニメーション機能を用いてメリハリのある解説をすることも可能です。プリントだとモノクロしかできない画像をカラー表示できるのもオンデマンド方式ならではのものです。

学生の側の利点も少なくありません。何と云っても最大の利点は、学びの時間と場所を自分の都合に合わせて任意に選べることでしょう。電車の遅延や体調が悪くて授業を欠席するといったアクシデントもこの方式だと回避できます。それと自分のペースに合わせて理解するまで繰り返し視聴できる点も利点として見逃せません。なかには授業内容を家族と共有し、昔話などの伝承文学について母親に助言してもらったという学生もいました。

一方で解決すべき課題もきちんと認識する必要があります。やはり最大の課題には、学生間のコミュニケーションが取れず、教員とのつながりも希薄になることを挙げざるを得ません。学生同士で意見を交換し、知識を深めていくという大学ならではの学びの機能を引き出すことは困難なのが現状です。教員とのつながりが薄れることを何とかなくしようと、私は動画にできるだけ顔を出し、前回の授業で寄せられたコメントに返答するなど対面による通常の授業に近づける工夫をしました。

教員の側の事情を話すと、中身の濃い授業ができる半面でその準備にはかなりの時間をかけざるを得ません。90分の授業に6時間ほどの動画作成の時間を要します。探し出した資料の著作権などにも念には念を入れて配慮する必要があります。ただ、長所、短所が浮かび上がったことで授業の可能性を広げるヒントが得られたとも言えます。(談)

長所、短所は授業の可能性を広げるヒント



文学部・飯倉義之准教授



教員も学生も一丸 教育成果を上げる

教育開発推進機構・加納なおみ准教授



1、2年生を対象とした「基礎日本語」でライブ配信によるオンライン授業を実施しました。この科目では、基本となる思考力、それを言語化する言語力、他者と協働する力、そしてデジタルリテラシーの4つを、学びを通じて強化すべき柱に据えています。つまりリポートを書くだけでなく、書くことによって批判的思考とか論理構築などの考え方を養い、併せてその作業を通じ学生同士が学び合い支え合う協働力、プレゼンテーション能力、さらにはデジタルリテラシーを身につけてもらうのが目的ということになりました。

この科目は昨年前期までは、書くことに重点が置かれていました。書く力を伸ばそうとするなら言語能力全般、協働力も高めた方が効果的なことが研究から分かっているため、授業の内容を抜本的に見直したものです。ですからオンライン化にあたっては、改革の路線を緩めず、授業の質も低下させることなく教育成果を上げることに腐心しました。

オンライン化に際し、具体的な課題として浮上したのは、やはり教員のデジタルスキルにばらつきがあることでした。教える教員によって授業の質に差異が生じないよう、まずはデジタルスキルを一定水準に引き上げることに迫られました。

令和2年前期のこのクラスの概要は、開講クラス数が16クラス(1クラス35人)で、これを専任講師1人、兼任講師9人で教えるというものです。オンライン化に向け4月上旬に兼任講師を対象にした研修の準備に取り掛かり、同月後半から開始しました。目的に応じアプリケーションソフトのZoomとGoogle Classroomを使い分けることにし、3回の研修でこれらの基本の習得を目指しました。

アカデミックライティングは、互いに文章を読み合うなど読み手と書き手の円滑なコミュニケーションの積み重ねなくして習得することはできません。それをオンラインでも実現できる見通しが得られたと判断しています。学生の討議など教室の空気感をもとに臨機応変に指導する対面授業の利点をオンラインで引き出すには限界があります。ですが、学生が提出したリポートを自動的にデジタルデータで保存し、教員間で共有できるといったオンラインの利点の多さも見逃すことはできません。今後は大学での授業に限らず、オンラインと対面それぞれの良さを取り込み、併用が進む世の中になっていくのではないかとみています。(談)



※「基礎日本語」は令和3年度から「アカデミック・リテラシー」と名称を変更して開講される



第16回「地域の伝承文化に学ぶ」コンテスト

折口信夫賞に寺田雅さん(鹿児島・屋久島高)



「佳作」
2019年度 地理歴史部民俗調
地域文化研究部門(団体)

「地域の伝承文化に学ぶ」コンテストは、各地域に伝わる昔話や伝説、郷土料理や方言などの身近で当たり前の風景にある「地域社会」に目を向け、文化を掘り起こして向き合うことよって現在の私たちにできることを考えてもらおうと開催。本学の持つ伝承文化に関する資産に触れることで、さらに研究を深めてもらうことも狙っている。平成17年から開催され、16回目となる今回は全国から266点の応募があった。内訳は、地域文化研究部門の団体38点・個人179点▽地域民話研究部門の団体10点・個人24点▽学校活動部門15点だった。

折口信夫賞	
「屋久島民謡『まつばんだ』を後世に伝える方法」 寺田雅(鹿児島・屋久島高3年)	
地域文化研究部門	
《団体》	
優秀賞	「みなべ・田辺の梅システム 400年とこれから」 (和歌山・田辺高 みなべ・田辺の梅システム研究会)
「未来へつなぐ地域資源～伝統食材の保存と普及を目指して～」 (群馬・勢多農林高 植物バイオ研究部)	
《個人》	
最優秀賞	「屋久島民謡『まつばんだ』を後世に伝える方法」寺田雅(鹿児島・屋久島高3年)
優秀賞	「『無尽』がつくる山梨のコミュニティを探る!!」竹井愛(山梨・甲府東高3年)
優秀賞	「わんどの津軽の楽器の魅力は知ってげじゃ」古川弥音(青森・五所川原第一高3年)
地域民話研究部門	
《団体》	
最優秀賞	「民話の伝承と古代下野国における交通網の関係～地域の民話から史実を探る～」 (栃木・矢板東高 リベラルアーツ同好会)
優秀賞	「自然から生まれる民話たち～光礫・五色浜の地質調査から～」 (鹿児島・鶴翔高 地域文化研究同好会)
「伊予には狐がない“いよ”-河野氏と狐伝説-」(愛媛・松山北高 郷土研究部)	
学校活動部門	
優秀賞	「幻のRib-arch～年代特定と名称発見～」 (福岡・朝倉高 史学部)
「わたしたちの蔵の街！先人が伝える不変の伝統工芸品を次世代へ～幸作藩地が創る新たなビジネスプロジェクト～」 (栃木・栃木農業高 農業環境部地域デザイン班)	
「『石鎚黒茶』伝統文化の未来」(愛媛・西条農業高 石鎚黒茶SELプロジェクトチーム)	
(敬称略)	

東白川村(奈良・帝塚山高2年)▽「神社には地域を活性化させる事ができるか」埼玉県志木市敷島神社のケース」岡田真奈(東京・渋谷教育学園渋谷高2年)▽「温故知新！埼玉県秩父市の伝統文化から考える」島村昂寿(東京・海城高1年)

「佳作」
「夏の写し絵」森幸成(岐阜・済美高2年)▽「神社には地域を活性化させる事ができるか」埼玉県志木市敷島神社のケース」岡田真奈(東京・渋谷教育学園渋谷高2年)▽「温故知新！埼玉県秩父市の伝統文化から考える」島村昂寿(東京・海城高1年)



地域民話研究部門最優秀賞に輝いた矢板東高の生徒

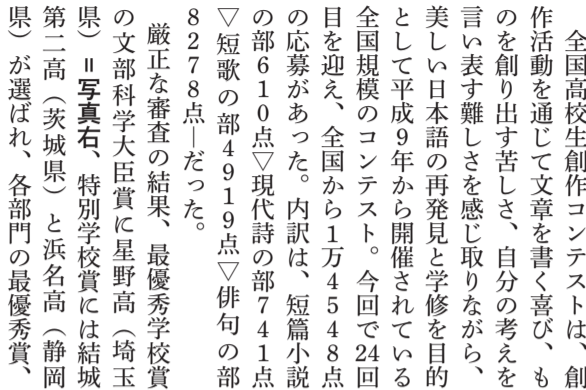
高校生向けコンテスト入賞作決定 応募総数1万4000点を超える

国学院大学とスクールパートナーズ(高校生新聞社)による第24回全国高校生創作コンテスト(協賛：国学院大学若木育成会・国学院大学院友会・国学院大学北海道短期大学部 後援：文部科学省・全国高等学校長協会・全国高等学校国語教育研究会合会・日本進路指導協会)と、第16回「地域の伝承文化に学ぶ」コンテスト(協賛：国学院大学若木育成会・国学院大学院友会・国学院大学北海道短期大学部 後援：文部科学省・全国高等学校長協会・全国高等学校国語教育研究会合会・日本進路指導協会)の入賞作品が決定した。今回の応募作品数は、両コンテストを合わせて1万4814点。表彰式は新年度、国学院大学北海道短期大学部 後援：文部科学省・全国高等学校長協会・全国高等学校国語教育研究会合会・日本進路指導協会にて開催される。

今回のコンテスト入賞作品を掲載した「全国高校生創作コンテスト入賞作品集」「地域の伝承文化に学ぶ」コンテスト入賞作品集を来年2月下旬に刊行の予定です。両作品集は無料配布いたします。発送をご希望の場合は、希望部数と送料先をご連絡ください。
問 総合企画部広報課 (☎03・5466・0130)

第24回 全国高校生創作コンテスト

文部科学大臣賞に星野高(埼玉)



全国高校生創作コンテストは、創作活動を通じて文章を書く喜び、ものを創り出す苦しみ、自分の考えを美しい日本語の再発見と学修を目的として平成9年から開催されている全国規模のコンテスト。今回で24回目を迎え、全国から1万4548点の応募があった。内訳は、短編小説の部610点▽現代詩の部741点▽短歌の部4919点▽俳句の部8278点だった。

厳正な審査の結果、最優秀学校賞の文部科学大臣賞に星野高(埼玉県)が選ばれ、各部門の最優秀賞、優秀賞もそれぞれ決まった。別表。

「佳作」
「旅行」磯部美咲(埼玉・星野高3年)▽「さいごの日」青山聖和(大阪・四天王寺高2年)▽「月の裏に住む鯨」須藤春花(千葉・大原高2年)▽「ユウジンクラゲ」田口綾乃(岐阜・恵那高2年)▽「七つで」乃「武藤花依(福岡・筑紫女学園高2年)」

「佳作」
「燭光」中園光(東京・渋谷教育学園渋谷高3年)▽「世紀末と糸電話」小島若菜(神奈川・相模向陽館高1年)▽「髪素」増田涼子(大阪・北野高1年)▽「火花と白百合」今村瞳子(神奈川・湘南白百合学園高2年)▽「dream」草加修宏(岡山・津山工業高専3年)

「佳作」
山田美希(東京・田園調布学園高等部1年)▽馬屋原朋季(岡山・井原高南校地3年)▽細川依路(富山・高岡第一高3年)▽島袋乃乃(沖縄・昭和薬科大学付属高3年)▽吉井文哉(茨城・結城第二高3年)

「佳作」
須田友雅(東京・大泉高1年)▽吉原青空(石川・寺井高2年)▽河合美琴(東京・学習院女子高等科3年)▽岩崎将英(千葉・拓殖大学紅陵高2年)▽山本夕愛(岐阜・星野高2年)▽村岡花乃(群馬・太田女子高3年)▽中屋朝陽(石川・金沢泉丘高1年)▽神原彩那(茨城・結城第二高3年)▽植松幹太(福岡・西日本短期大学付属高1年)

「佳作」
「夕暮れの匂い」福田音愛(福岡・北筑高2年)▽「彷徨うリリー」井上瑞菜(広島・呉津田高1年)▽「仔猫」登裕太郎(東京・文化学園大杉並高3年)▽「蟻の責任」平井華乃果(岡山・津山工業高専1年)▽「海ガメ」安曇灯里(北海道・帯広北高2年)▽「山の哀歌」山城昌伶(沖縄・那覇高2年)▽「飛ぶか飛ばないか」近藤章音(米岡・ポートランド日本人学校2年)▽「真紅」川口亮(東京・麻布高2年)▽「雪中紅梅」高野知宙(東京)

「佳作」
「不定積分」藤田凛々子(神奈川・平塚中等教育学校6年)▽「可愛いはつくれる、ただし」菅野夢夏(青森・弘前中央高3年)▽「うらやましい」加藤遥香(北海道・富良野緑峰高3年)▽「星空」河端琉夏(神奈川・川崎高3年)▽「野金」田野美珠稀(神奈川・川崎高1年)▽「ゆれる悪夢」杉野迅(岡山・津山工業高専1年)▽「子供」渡邊陽基(茨城・土浦第一高3年)▽「四日」香山華奈(鹿児島・鹿児島第一

「佳作」
須田友雅(東京・大泉高1年)▽吉原青空(石川・寺井高2年)▽河合美琴(東京・学習院女子高等科3年)▽岩崎将英(千葉・拓殖大学紅陵高2年)▽山本夕愛(岐阜・星野高2年)▽村岡花乃(群馬・太田女子高3年)▽中屋朝陽(石川・金沢泉丘高1年)▽神原彩那(茨城・結城第二高3年)▽植松幹太(福岡・西日本短期大学付属高1年)

「佳作」
山田美希(東京・田園調布学園高等部1年)▽馬屋原朋季(岡山・井原高南校地3年)▽細川依路(富山・高岡第一高3年)▽島袋乃乃(沖縄・昭和薬科大学付属高3年)▽吉井文哉(茨城・結城第二高3年)

「佳作」
須田友雅(東京・大泉高1年)▽吉原青空(石川・寺井高2年)▽河合美琴(東京・学習院女子高等科3年)▽岩崎将英(千葉・拓殖大学紅陵高2年)▽山本夕愛(岐阜・星野高2年)▽村岡花乃(群馬・太田女子高3年)▽中屋朝陽(石川・金沢泉丘高1年)▽神原彩那(茨城・結城第二高3年)▽植松幹太(福岡・西日本短期大学付属高1年)

学寮のご案内

国学院大学は、本学学生専用の男子寮「学寮 まほろば」、女子寮「学寮 常磐木」を設け、地方出身の学生の生活を支援しています。

学びに集中できる設備と環境を整え、学生寮ならではのサポートで、学生生活を支えています。(完全個室制、朝夕食事提供あり、寮長・寮母常駐)

在学生の皆さまで、令和3年4月からの入寮をご希望の方は、下記までお問い合わせください。諸条件は大学HP(QRコード)を確認を。

問い合わせ先
●学寮 まほろば……………(株)共立メンテナンス ☎0120-88-1030
●学寮 常磐木……………学生事務部学生生活課 ☎03-5466-0145

最優秀賞受賞者 喜びの声

折口信夫賞・地域文化研究部門(個人) 寺田 雅さん(鹿児島・屋久島高3年)

研究にご協力いただいた先生方や地域の方々のおかげです。コンテストのおかげで論文の作り方や構成などを勉強できました。今後は民謡による人々の心境の変化などをアンケートで分析していきたいです。

地域民話研究部門(団体) 栃木・矢板東高 リベラルアーツ同好会(代表:池亀優子さん)

研究した民話は、小さい頃からよく耳にしていた有名な話です。調べる中で意外なところに民話同士のつながりを発見できて面白かったです。自ら地域の歴史や文化を新たに知り、発見することに楽しさを感じています。

高校生向けコンテスト「入賞作品集」を制作中

今回のコンテスト入賞作品を掲載した「全国高校生創作コンテスト入賞作品集」「地域の伝承文化に学ぶ」コンテスト入賞作品集を来年2月下旬に刊行の予定です。両作品集は無料配布いたします。発送をご希望の場合は、希望部数と送料先をご連絡ください。

問 総合企画部広報課 (☎03・5466・0130)

最優秀賞受賞者 喜びの声

短編小説の部 田中 望結さん(埼玉・星野高2年)

うれしい、以外の感情がありません。多様性が掲げられつつも、どこかに漂う排他的な空気に「自分の感性をどうにか普遍的な小説として表現できないか」と考えたことが執筆のきっかけです。言葉を扱う難しさ、楽しさ、価値を感じました。

現代詩の部 熊谷 滋さん(埼玉・大宮高1年)

今回は「尋常」という言葉をテーマにし、「尋常」と「尋常でない」の間でさまよいつづける私たち思春期の懊悩に、「いざ尋常に勝負」と誠実に向き合いたいと思い制作しました。

短歌の部 副島 亜海さん(福岡・西日本短期大学付属高2年)

大きな支えの祖母を詠んだ歌で大きな賞をいただき、天国で見守ってくれている祖父にも良い報告ができました。祖父の畑で一生懸命に畑仕事をしている祖母の姿がとても印象に残っていて、その姿を短歌に詠みました。

俳句の部 濱口 美咲さん(山口・熊毛南高2年)

「いい句が詠めた」と手応えを感じた句で最優秀賞を取れたことが、とてもうれしいです。情景だけでなく、五感を感じられる俳句を詠もうと、試行錯誤を繰り返す中に、きれいになっていく俳句を見るのが楽しかったです。

最優秀賞受賞者 喜びの声

短編小説の部 田中 望結さん(埼玉・星野高2年)

うれしい、以外の感情がありません。多様性が掲げられつつも、どこかに漂う排他的な空気に「自分の感性をどうにか普遍的な小説として表現できないか」と考えたことが執筆のきっかけです。言葉を扱う難しさ、楽しさ、価値を感じました。

現代詩の部 熊谷 滋さん(埼玉・大宮高1年)

今回は「尋常」という言葉をテーマにし、「尋常」と「尋常でない」の間でさまよいつづける私たち思春期の懊悩に、「いざ尋常に勝負」と誠実に向き合いたいと思い制作しました。

短歌の部 副島 亜海さん(福岡・西日本短期大学付属高2年)

大きな支えの祖母を詠んだ歌で大きな賞をいただき、天国で見守ってくれている祖父にも良い報告ができました。祖父の畑で一生懸命に畑仕事をしている祖母の姿がとても印象に残っていて、その姿を短歌に詠みました。

俳句の部 濱口 美咲さん(山口・熊毛南高2年)

「いい句が詠めた」と手応えを感じた句で最優秀賞を取れたことが、とてもうれしいです。情景だけでなく、五感を感じられる俳句を詠もうと、試行錯誤を繰り返す中に、きれいになっていく俳句を見るのが楽しかったです。

入選

松田星音(埼玉・特別支援学校坂戸ろう学園1年)▽織田桃果(滋賀・東大津高2年)▽小久保羽琉(埼玉・星野高3年)▽糸内大知(三重・四日市南高2年)▽弘平谷空(東京・広尾学園高2年)▽遠山琴々(静岡・浜名高1年)▽武元気(群馬・高崎高2年)▽高島光希(茨城・結城第二高3年)▽多良泰我(福岡・西日本短期大学付属高1年)

【審査員】中村航(作家)▽井上孝雄(東京都立高教諭)▽田中章義(歌人)▽水無田氣流(詩人・本学経済学部教授)▽堀本裕樹(俳人)▽村田光英(高校生新聞社編集局長)

*2つの学寮では、新型コロナウイルスの感染防止ため日々対策に取り組んでいます

インフォダイジェスト

…在学生 …保護者 …卒業生 …一般 …受験生
内容 日にち 時間 場所 対象 申し込み 料金 問い合わせ

大学からのお知らせ

大学入試に伴う入校制限

令和3年度大学入学共通テストおよび本学一般選抜入学試験実施のため、会場となるキャンパスへの入校を右上表の通りに制限します。なお、該当期間は課外活動を行うことができません。

令和3年度大学院春季入試

国学院大学大学院博士前期課程および同後期課程では、右下表の日程で令和3年度春季入試を実施します。

大学院事務課 ☎03・5466・0142

新型コロナ関連のお知らせ

対面授業受講上の留意事項

キャンパス内での集団感染を防ぐため、次の留意事項に基づいて対面授業を受講してください。

●基本的な留意事項

- ①継続的に手洗い、咳エチケットの徹底を
- ②手洗い「3密」を避ける取り組みを
- ③免疫力を高める十分な睡眠、適度な運動、バランスの取れた食事を

●具体的な留意事項

- ①毎朝検温をし、発熱や咳などの風邪症状がみられる場合、同居する家族、身近な知人に感染が疑われる場合は登校を控え、授業は欠席を
- ②『検温等チェック表』への記入を
- ③『新型コロナウイルス感染症防止チェック表』に必要事項を記入し、担当教員から求められた場合は提出を
- ④大学構内では必ずマスクの着用を
- ⑤入退館、入退室時には手指消毒の徹底を
- ⑥教室では着席不可の席には座らない

感染が疑われたら保健室に連絡を

新型コロナウイルス感染症と診断された方、疑いがあると言われた方は、必ず保健室にメールか電話で連絡を

てください。

▶保健室アドレス

✉hoken@kokugakuin.ac.jp

▶渋谷 TEL (平日・土曜9時~17時)

☎03・5466・0148

▶たまプラーザ TEL

(平日・土曜9時~17時)

☎045・904・7721

◆大学入学共通テスト

渋谷キャンパス

日	時	立入制限区域など
1月15日(金) 入学試験準備日	終日	120周年記念1号館、130周年記念5号館、総合学修館(6号館)、若木会館、百周年記念館(地下1・2階、3・4階)
	16時以降	3号館
	17時50分以降	120周年記念2号館
1月16日(土)・17日(日) 入学試験当日	終日	120周年記念1・2号館、3号館、130周年記念5号館、総合学修館(6号館)、若木会館、百周年記念館(地下1・2階、3・4階)

※1月15日17時~17日:120周年記念1号館から国際交流センターは封鎖

※図書館は、1月15日は9時から19時30分まで開館、16日・17日は休館

◆本学一般選抜入学試験

渋谷キャンパス

日	時	立入制限区域など
A日程 2月1日(月) 入学試験準備日	終日	120周年記念1・2号館、3号館、130周年記念5号館、総合学修館(6号館)、若木会館、百周年記念館(地下1・2階、3・4階)
	19時30分以降	学術メディアセンター
2月2日(火)~4日(木) 入学試験当日	終日	120周年記念1・2号館、3号館、130周年記念5号館、総合学修館(6号館)、学術メディアセンター(博物館除く)、若木会館、百周年記念館(地下1・2階、3・4階) ※若木タワーは2月2日のみ
B日程 3月1日(月) 入学試験準備日	終日	120周年記念1・2号館、3号館、130周年記念5号館、総合学修館(6号館)、若木会館、百周年記念館(地下1・2階、3・4階)
	19時30分以降	学術メディアセンター
3月2日(火) 入学試験当日	終日	120周年記念1・2号館、3号館、130周年記念5号館、総合学修館(6号館)、学術メディアセンター(博物館除く)、若木会館、百周年記念館(地下1・2階、3・4階)

※2月1日17時~4日、3月1日17時~2日:120周年記念1号館から国際交流センターは封鎖

たまプラーザキャンパス

日	時	立入制限区域など
A日程 2月1日(月) 入学試験準備日	終日	1・2・3・5号館、Sports Square 1・3、若木21
2月2日(火)~4日(木) 入学試験当日	終日	

大学院 令和3年度春季入試日程

研究科	入試区分	専攻	募集人員	願書受付期間	試験日合否発送	手続期間	
文学	前期	一般	神道学・宗教学	7名	令和3年 1月12日(火) ~1月19日(火)	【試験日】 2月13日(土) 【合否発送】 2月17日(火)	
			文学	9名			
			史学	9名			
	外国人	神道学・宗教学	若干名				
		文学					
		史学					
	学内成績選考	神道学・宗教学					
		文学					
		史学					
	学外成績選考	文学					
		神道学・宗教学					
		文学					
後期	一般	神道学・宗教学	3名	令和3年 2月18日(火) 【合否発送】 2月24日(火)			
		文学	8名				
		史学	8名				
	外国人	神道学・宗教学	若干名				
		文学					
		史学					
社会人	神道学・宗教学						
	文学						
	史学						
法学	前期	一般	5名		令和3年 1月18日(月) ~1月25日(月)	【試験日】 2月23日(火) 【合否発送】 2月24日(火)	
			外国人				若干名
			学内論文選考				法律学
	学内成績選考						
	社会人						
	後期	一般	5名				
外国人		若干名					
一般		5名					
経済学	前期	外国人	若干名				
		学内推薦					
		社会人					
	後期	一般		5名			
		外国人		若干名			
		社会人					

キャリアサポート

あなたは大丈夫?新社会人になる前に4年生が知っておくべき「スーツ着こなし&宴席マナー講座」

例年参加者から高い評価を受けている、大学から卒業生へ贈るプレゼント企画です。卒業してからでは聞くことができない「社会人として知っておくべきこと」をお伝えします!

社会人としてのスーツ着こなしは就職活動の時とは異なります。また、会社では、スーツだけではなく、クールビズやオフィスカジュアルなどもあるので、卒業前に社会人としてのスーツ着こなしを学びましょう。また、社会人になったら、宴席も増えます。職場で恥をかかないように今のうちから宴席マナーも身につけましょう。※オンライン開催

日・時 令和3年1月26日(火)13時30分~14時30分

対 4年生

模擬面接指導会(メントレ)

この企画は、面接力強化&最終チェックを目的としています。採用選考の面接では、フィードバックがない

ため、どこが良くてどこが悪かったのか分からず、同じ過ちを繰り返してしまう危険性があります。解禁前に自分の面接内容について、実際の採用担当者から実践的なアドバイスももらえる貴重な機会になりますので、本番対策として積極的に参加してください。※オンライン開催

日 令和3年2月10日(水)・12日(金)

時 13時~17時

対 3年生

WEB合同企業説明会

国学院大学生を採用する意欲が高い企業の採用担当者から話を伺うことができるWEB合同企業説明会です。一日で多くの企業と出会うことができます。毎年、この説明会をきっかけに内定を獲得する学生がいますので、この機会に業界・企業・職種研究を進めるとともに、自分に合ったオンリーワン企業を探しましょう!

※オンライン開催

日 令和3年2月15日(月)~19日(金)

時 午前の部:10時30分~12時50分、
午後の部:14時~16時20分

対 3年生

※詳細確認・申し込みはK-SMAPY IIから行ってください

博物館

料無料

時原則、水・木・金・土曜日の12時~17時(最終入館16時30分)。短縮開館

企画展「江戸のベストセラー 唐詩選」

「唐詩選」は江戸時代、爆発的に流行した中国・唐代の漢詩選集。国語の教科書でおなじみの詩人、李白や杜甫らの名詩も選ばれています。本

展では、「総集」の代表である「唐詩選」と「別集」への江戸時代の人々の愛好ぶりを見ていきます。会期中途中で展示内容やミュージアムトークをオンラインで公開する予定です。

日 令和3年1月13日(水)~2月27日(土)
(1月16日、2月3・4日は休館日)

場 企画展示室

※博物館関連イベントの問い合わせは ☎03・5466・0359

先輩に 志く

特別編

初タイトルを支えた「備える力」

東京ヤクルトスワローズ 清水昇投手

コロナ禍により開幕が約3カ月遅れるなど異例づくめとなった今年のプロ野球。セ・リーグでは、国学院大学からヤクルトに進んだ2年目・清水昇投手が中日の2投手とならんで最優秀中継ぎのタイトルを獲得した。投手部門のタイトル獲得は本学出身者で初の快挙だ。

勝利の方程式の一角として8回のマウンドに立ち続けた右腕は、緊迫した試合展開の中で最大限の力を発揮するため準備の大きさを強調する。

コロナ禍の中でプロ野球を開催できたのは、最善を尽くしてもらったプロ野球関係者、医療関係者のおかげ。野球ができる幸せを感じられたシーズンだった。

昨季は先発を任されるも未勝利(3敗)。ふがいないかった。今年は開幕からシーズンを通して一軍で試合に出ることを意識してキャンプからトレーニングに励んできた。3月のシーズン開幕も延期になり、4月には緊急事態宣言が出た。そうした中でもいつ開幕してもいいようにトレーニングは続けてきた。時には去年と、オープン戦の動画を見比べて投球フォームや筋肉の使い方などを研究し、練習で試すことを繰り返した。結果として、自分を見つめ直す時間になり、調子を落とさずに開幕を迎えた。



清水昇投手 (ヤクルト球団提供)

開幕当初は、中継ぎとしてポジションが確約されていたわけではない。ピッチャーや、同点での登板で押さえたことが信頼につながり、8回を任されることになったと思う。

開幕からは11試合連続で無失点をマークした。チームも首位争いをしていて、流れに乗って力が出せていた。転機になったのは7月16日の阪神戦。味方が1点を勝ち越した直後の8回に登板した。しかし、ジェリー・サンズ選手にソコ本塁打を浴び、同点。さらに福留孝介選手に2ランを浴び、4対6と逆転を許した。

打たれたことで登板までの時間をもつと大事にしようという気持が瞬間だった。打者の傾向やチーム状況、試合の流れは頭に入っていたが、より明確に考えて備えなければチームを勝利に導けない。走者を出しても点を取られないようにするのが投手だということに身にしみて感じた。

誰しも常に120%の力で投げることはできない。試合が続けば、疲れや緊張もある。投球の質を上げて好不調の波を小さくすることを意識して練習してきたのも結果につながったのだろう。

来季は真価が問われる。7回、8回を任せたい

開幕当初は、中継ぎとしてポジションが確約されていたわけではない。ピッチャーや、同点での登板で押さえたことが信頼につながり、8回を任されることになったと思う。

開幕からは11試合連続で無失点をマークした。チームも首位争いをしていて、流れに乗って力が出せていた。転機になったのは7月16日の阪神戦。味方が1点を勝ち越した直後の8回に登板した。しかし、ジェリー・サンズ選手にソコ本塁打を浴び、同点。さらに福留孝介選手に2ランを浴び、4対6と逆転を許した。

打たれたことで登板までの時間をもつと大事にしようという気持が瞬間だった。打者の傾向やチーム状況、試合の流れは頭に入っていたが、より明確に考えて備えなければチームを勝利に導けない。走者を出しても点を取られないようにするのが投手だということに身にしみて感じた。

誰しも常に120%の力で投げることはできない。試合が続けば、疲れや緊張もある。投球の質を上げて好不調の波を小さくすることを意識して練習してきたのも結果につながったのだろう。

来季は真価が問われる。7回、8回を任せたい

しみず・のぼる
国学院大学から平成30(2018)年のドラフトでヤクルトスワローズから1位指名を受けプロへ。今季は0勝4敗30ホールドポイント。右投げ左打ち。背番号17。在学中は、東都大学野球1部で43試合に登板し、13勝。

弁論部

第1回国学院大学学長杯争奪 全国学生弁論大会を開催

弁論部が主催する第1回「国学院大学学長杯争奪 全国学生弁論大会」が11月21日、渋谷キャンパスで行われ、YouTubeでライブ配信された。開会に当たって、幹事長の岩崎航大さん(法3)は「YouTubeでご覧の方にも思いが届けられるよう気合を入れて臨みたい」と挨拶。招待された8人の弁士が次々と登壇し、弁論11分・質疑応答9分の持ち時間で熱のこもった弁論を展開した。

審査の結果、コロナ禍の中で顕在化した国家の

統計データと行政の課題について、日本政治を研究している自身の学修経験を踏まえて論を展開した早稲田大の三谷滉人さんが優勝に選ばれた。結果は下記の通り。

閉会式で大会発起人代表の齋藤光起さん(法3)は「今回の大会は新入生の方に弁論を学ぶ機会を作るために企画した。言葉が必要とされる時代は、これからも続いていく。言葉を磨いて自分や誰か、社会を助けることにこの大会が役立てば」と挨拶した。

Miss&Mr.国学院が決まる

国学院大学のイベントサークルideed(アイディード)が主催し、ミス国学院とミスター国学院を決める「国学院大学Miss & Mister contest 2020」が11月20日、オンラインでのライブ配信で開催された。

視聴者らの投票の結果、ミス国学院に山崎愛麻さん(外文2)、ミスター国学院に齋藤貴玖人さん(健体2)が男女5人ずつのファイナリストの中から選ばれた。



イベントサークルideed提供

団体個人の成績

卓球部=全日本学生選抜強化大会が11月28~29日、横浜武道館(横浜市)で行われ、男女のシングルスに部員各1人が出場した。

男子シングルスでは、村上達哉選手(日文2)=写真=が全国の強豪を相手に接戦の末3連勝で退け予選リーグを突破。ベスト32入りを果たした。女子シングルスには、小畑美菜選手(初教2)が出場したが、予選リーグ1勝2敗でトーナメント進出はならなかった。



ニッタクニュース提供



YouTubeでライブ配信された大会の様子

- 優勝**
三谷滉人さん(早稲田大)
「statisticum」
- 準優勝**
平山陽貴さん(東京農業大)
「クマと生きる」
- 第3席**
井出真広さん(慶応義塾大)
「孟母三遷」
- 審査委員特別賞**
柴田恵佑さん(慶応義塾大)
「情報保全社会に向けて」

K:DNA——創立139年目を迎えた国学院大学の**遺伝子**…個人・個性を尊重する校風 若いエネルギーが未来を変える

陸上競技部

箱根駅伝 エントリー選手発表

令和3年1月2、3日に開催される第97回東京箱根間往復大学駅伝競走（箱根駅伝）に出場する全21チームのエントリー選手16人が12月10日、発表された。前回大会往路2位、総合3位と過去最高順位を飾った本学陸上競技部は、「総合3位以内」を目標に掲げ5年連続14回目の箱根路に挑む。長期間にわたる課外活動の自粛や各大会の中止など新型コロナウイルスの

感染拡大によって予期せぬシーズンとなった今年。前田康弘監督は「このような社会情勢の中でも、多くの方々の支えがあって今大会に出場できることに感謝しかない。歴史と伝統のある箱根路を、前回大会と同様に総合3位以内を目指して選手と共に全力で走り抜きたい」と意気込みを語る。エントリー選手16人は次の通り。

今年はテレビで観戦を!

箱根駅伝は前回大会でシード権を獲得した10校と10月に行われた予選会を突破した10校に関東学生連合チームを加えた21チームで争われる。主催する関東学生陸上競技連盟は、新型コロナウイルスの感染防止対策の一環として大学関係者や応援団、卒業生、保護者に対して沿道での応援行為に強く自粛を求め、テレビなどでの観戦、応援を呼びかけている。

エントリー選手一覧（敬称略）



白井 健太（健体4）
走る意味や喜びを再確認し、レースに出ることが当たり前ではないと感じた1年の経験を武器に、全日本大学駅伝の負けも4年間の全てに力を変えて走り抜く。



門田 秀利（健体4）
4年間何度も故障し、そこから学んだことを力に、人生最初で最後の箱根駅伝を楽しみ、根性のある走りですべての方々に恩返しを。



河東 寛大（神文4）
自分にとっては最後の箱根駅伝。前回大会同様に総合3位以内を達成できるように頑張る。



木下 巧（健体4）
チーム目標である3位に貢献できるように、鍛えてきた精神的な強さで区間5位を目指す。



高嵩 凌也（法4）
小学生の頃からの目標の大会。1年間磨いた安定感でチームに貢献できる粘りの走りをする。



田川 良昌（経4）
箱根駅伝は、夢の舞台であり、親に感謝の気持ちを表せる場。区間1桁順位を目指し感謝の気持ちを忘れずに懸命に走る。



徳備 大輔（法4）
今年一番成長をしたのは「自己管理能力」。憧れの舞台で区間5位以内の走りを見せ、チームに貢献できるように頑張る。



藤村 遼河（経営4）
憧れの舞台で区間1桁の走りですべてに貢献する。



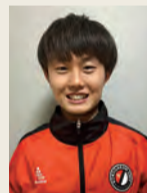
石川 航平（健体3）
コロナ禍で実感した諦めないことの大切さを胸に、一人でも多く前に行く選手を抜き、チーム目標の3位に向けて全力で走る。



木付 琳（主将・経3）
全日本大学駅伝は不甲斐ない結果だった。箱根駅伝ではチーム目標の総合3位を達成するために、どの区間でも力を出し切って区間5位以上を狙う。



島崎 慎愛（経営3）
コロナ禍の練習で一人で走ることが苦ではなくなった。自分が一番輝ける舞台でチームにいい流れを作る。



殿地 琢朗（健体3）
全日本大学駅伝で悔しい思いをし、より一層箱根駅伝で結果を出すという使命感が強くなった。観客の心に刺さる気持ちのこもった走りをする。



藤木 宏太（神文3）
コロナ禍の中、競技との向き合い方で成長を感じた1年。チームの目標である総合3位に貢献できるように頑張る。



中西 大翔（健体2）
この1年で成長したスタミナと中間の粘りで区間賞を取り、目標である総合3位へチームに勢いをつける。



中西 唯翔（健体2）
長い怪我で苦しかった大学2年目。怪我が長引いても目標を思い続けてこられたことを糧に夢の舞台を走り、笑って終われるようにしたい。



伊地知 賢造（健体1）
全日本大学駅伝のリベンジを果たすために、ここまで練習してきた。憧れの舞台で結果にこだわって走る。

未来につなぐ 学術資産研究

平安期の『万葉集』を伝える断簡

『万葉集』元暦校本断簡

令和の典拠となった日本最古の歌集『万葉集』は、奈良時代末頃に最終的成立を迎えたと考えられるが、その原本は残っていない。古いものとしては、平安中後期の書写本が確認されるが、それらは本文がすべて揃っていない零本・断簡であり、本文が揃っている完本はくだって鎌倉後期書写の西本願寺本を俟たねばならない。

今回紹介するのは平安後期に書写された元暦校本の断簡であり、国学院大学教授であった武田祐吉博士が家蔵していた書である。

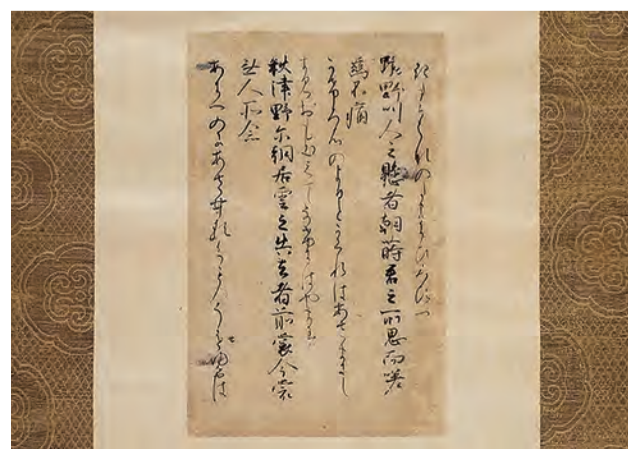
漢字で示される万葉仮名の歌本文のあとに、平仮名で訓み下し文（平仮名別提訓）が書かれてお

り、平安期の『万葉集』の訓みを伝える。具体的には巻第七1404番歌下二句の平仮名別提訓から1406番歌上三句の平仮名別提訓までが書写されている。

また、その写された料紙には3つの〈飛雲〉が認められる。〈飛雲〉とは、雲が飛んでいるかのようにあしらわれた紫藍で染めた繊維の塊で、平安期の料紙に特徴的に認められる装飾である。

本断簡は、『万葉集』の訓みとともに平安期の優美な写本のあり方をも今日まで伝えている。

文学部兼任講師・研究開発推進機構客員研究員 荒木優也



国学院大学デジタルライブラリーで公開中